

こんにちは婦人会「さくら」です

早いもので10月も最終週になりました。「秋の日は釣瓶落とし」とはよく言ったもので、最近はあっという間に日が暮れてしまいます。暦の上では霜降も過ぎ、先日は木枯らし一号が吹きました。皆様いかがお過ごしでしょうか。編集人は、早くも風邪を引いてしまい病院へ行ったのですが、処方してもらった薬が5種類出ていてびっくりしました。神無月は季節の変わり目で寒暖差もありますので、皆様も風邪などひかれませぬようご自愛ください。

～婦人会・暮らしのエッセンス～

今月は、「包丁式」のお話です。ある冊子で読んだのですが、南房総市の高部神社は、日本書紀に名を記されるほど歴史があり、日本で唯一料理の神様が祀られている神社だそうです。

高部神社には、「包丁式」という平安時代の宮中行事を今に伝える行事があります。烏帽子、直垂をまとい、包丁とまな簀のみで直接手を触れることなく、鯉、真鯛、真魚鯉などをさばく厳粛な儀式だそうです。古式に則った所作と包丁さばきで、日本料理の伝統の技を今に伝えていきます。神社には、料理関係者や料理が上達したい人など多くの方が参拝に訪れるそうです。毎年10月17日と10月23日に、高部神社境内で包丁式奉納が執り行われるようです。 (インターネット引用)



婦人会「さくら」
平成27年10月26日
第165号